

第7回 耐雷設計検討会 議事録

1. 日時 平成 18 年 3 月 16 日 (木) 13:30 ~ 16:00

2. 場所 日本電気協会 4階 B会議室

3. 出席者 (敬称略, 五十音順)

出席委員: 今井主査 (関西電力), 田中副主査 (東京電力), 荒木 (北海道電力), 新屋 (北陸電力), 江島 (九州電力), 柿爪 (東芝), 加藤 (三菱電機), 杉山 (日立製作所), 長島 (中国電力), 藤森 (電源開発) (10名)

代理出席: 小山 (中部電力・内藤代理), 菅原 (東北電力・鴫田代理), 鈴木 (日本原電・長橋代理), 田中(秀) (三菱重工業・田中(信)代理), 滝川 (四国電力・森田) (5名)

欠席委員: 新藤 (電中研) (1名)

常時参加者: 長嶋 (関西電力) (1名)

オブザーバ: 田中 (勤), 佐久間 (原技協), 行実 (東芝)

事務局: 中島

4. 配布資料

資料 No.7-1 第6回 耐雷設計検討会 議事録 (案)

資料 No.7-2 原子力規格委員会 平成 18 年度活動計画 (案)

資料 No.7-3 原子力発電所の耐雷指針 (JEAG4608-1998) の改訂作業状況について (案)

資料 No.7-4 原子力発電所の耐雷設計に係る国内外技術動向調査

資料 No.7-5 原子力発電所の耐雷指針 JEAG4608-1998 改訂反映検討シート

資料 No.7-6 JEAG4608-200X 草案

参考資料 1) 原子力規格委員会 安全設計分科会 耐雷設計検討会 委員名簿 (案)

2) 原子力発電所の耐雷設計に関わる国内外技術動向調査 (平成 17 年度報告書)

5. 議事

(1) 委員名簿確認 (参考資料-1)

事務局より, 資料に基づき, 名簿 (案) の紹介があった。常時参加者として, 日本原電 (株) 鈴木氏と東芝 (株) 行実氏が承認された。

(2) 前回議事録確認 (資料 No.7-1)

事務局より, 資料に基づき, 第6回 耐雷設計検討会 議事録 (案) (事前に配布しコメントを反映済み) の説明があり, 原案どおり了承された。

(3) 原子力発電所の耐雷指針 (JEAG4608-1998) の改定案の検討

1) 国内外技術動向調査について

オブザーバ田中氏より, 資料 No.7-4 に基づき, 原子力発電所の耐雷設計に係る国内外技術動向調査について説明があった。

また, 今井主査より, 保護方式の具体的検討において, 消防法関連通達「危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令等の施行について」の危険物施設に対する保護レベルが原則 (ただし, 雷の影響からの保護確率を考慮した合理的な方法により決定されている場合は, 保護レベル とすることができる。) であることに対して, IEC61662 ベースでリスク評価した結果, 原子力発電所の外部雷保護システムについては保護レベル (危険物施設は保護レベル) とした旨補足があった。

続いて、参考資料-2に基づき、田中代理委員並びに杉山委員、加藤委員より、原子力発電所の耐雷設計に係る国内外技術動向調査について説明があった。

また、杉山委員より、雷保護レベルの設定に関して、IEC委員九州大学横山先生と打合せた議事内容について紹介があった。

2) 規格改定案の検討について

田中代理委員より、資料 No.7-5に基づき、JEAG4608改訂反映検討シートについて、前回検討会からの変更箇所について説明があった。また、資料 No.7-6に基づき、JEAG4608改訂草案について、前回検討会のコメント反映箇所について説明があった。

(4) 活動計画について

1) 平成17年度活動実績及び平成18年度活動計画(案)について(資料No.7-2)

今井主査より、資料に基づき、平成17年度活動実績及び平成18年度活動計画(案)について説明があり、JEAG4608は平成18年度改訂(予定)で作業を進めることとした。

2) JEAG4608改訂作業状況について(資料No.7-3)

今井主査より、資料に基づき、JEAG4608改訂作業の状況について説明があった。

なお、1)及び2)については、3月の安全設計分科会で紹介することとした。

6. その他

(1) 次回の検討会は、別途調整することとした。

以上